

# 郷土資料館だより

1月30日開催「ふるさと講座 三島市内石造物めぐり」より



馬頭観音・牛頭天王  
塔名号塔  
(中・医王寺前)

庚申塔 (谷田・錦田小学校入口)  
碑には、他に例を見ない独特な文字  
が刻まれている



一石一字一禮塔 (玉川・  
禅叢寺) 小石に経文の文字  
を一字ずつ書いて埋め、こ  
の上一字一石塔を建立



石造物群 (谷田・錦田  
小学校南) 5基以上の庚  
申塔などの石仏群



コマタケさん  
(錦ヶ丘) 夏梅木古墳  
公園より東側の山林中  
にある頼朝伝説の石



勝軍地藏 (平田・吉祥  
寺) 境内に勝軍地藏と  
芝切地藏が鎮座する



筆子塚 (北沢配水場)  
幕末の旭塾 (漢学塾)  
の師旭昇氏を記る



泉福寺石造物 (長伏)  
六地藏・庚申塔・宝篋  
印塔など多様な石造物  
を見ることができる



カ石 (梅名・  
右内神社) 境内に  
三個のカ石がある



名号塔 (中・医王寺)  
三島市誌によると徳本  
名号塔と紹介されている



カ石 (中)  
道の角にサイノカミ  
と四個のカ石がある



子安地藏  
(安久・持珠院)  
横道11番札所



光明寺石造物  
(大場) 唯念名号碑  
など多くの石造物  
が並ぶ



## 石造物めぐり マップ

平成15年3月1日現在

(1) ※訂正：一石一字一禮塔(玉川)と勝軍地藏(平田)の解説と位置が互いに逆になっています。

## 郷土教室

## 第4回「凧をつくってみよう」 12月23日(月) 天皇誕生日

講師 久保田 豪氏・芹澤 信吾氏 (共に駿河凧の会会員)  
参加人数 25名

凧の絵に着色◀



お正月の風物詩ともいえる凧の製作にチャレンジしました。今回作った凧は日本の凧の中でも静岡県の凧である「駿河凧」です。イカのような形をしていることから「イカ凧」とも呼ばれています。長泉町で実際に凧を作っている芹澤さんの指導のもと、凧の会会員の方々に手

▶立派な凧ができました



助けをしてもらいながら、凧骨の糊付けに始まり、色つけ、そしてバランスの難しい糸目付けの作業を行い、最後は郷土資料館玄関前で各自が作った凧を手にとりながら、凧のあげ方について説明を受けました。

凧あげは江戸時代から続く伝統的な遊びですが、残念ながら最近ではあまり見かけられません。これを機に少しでも多くの子供たちが凧あげに親しんでもらえたらと思います。

## ふるさと講座

講師 鈴木 勝彦氏 (三島市文化財保護審議委員)  
参加人数 20名

コース 楽寿園駅前口→谷田・錦田小入口庚申塚→中・医王寺→中・道祖神、力石→錦ヶ丘・コマタケさん→大場・筆子塚→大場・光明寺→安久・持珠院子安観音→梅名・右内神社→長伏・泉福寺→平田・吉祥寺→玉川・禅叢寺一字一石塔→楽寿園駅前口

庚申塔・錦田小学校入口◀



今年度のふるさと講座では、主として企画展「石は語る～祈りと想い～」に合わせ、近隣の石造物を訪ね歩いてきましたが、シリーズ最後は三島の石造物探訪です。今回は三島市南部に残る珍しい石造物を中心に見て回りました。谷田錦田小学校入口にある非常に珍しい文字で刻まれた石塔（詳しくは企画展報告の項で述べます）に始まり、錦ヶ丘の山中にひっそりとたたずむコマタケさん、持珠院では普段見られない観音堂を開帳していただき、泉福寺では大きな宝篋印塔を見て驚いた参加者もいました。

▶長伏・泉福寺



おかげさまで本シリーズは大変好評で、参加希望者も多く、残念なことに抽選でもれてしまった方も多数おりますので、今後も継続的に開催していけたらと思っています。

## 企画展開連講演会

講演会会場

「石造物データベースから見えること～裾野の資料を中心に～」 12月14日(土)

講師 瀬川 裕市郎氏 (静岡県考古学会代表委員)  
 参加人数 33名



講師の瀬川氏は、裾野市史編さん調査委員として長年同市の石造物の悉皆調査を手掛けておりましたが、今回はその調査で得られた分析結果を基に講演されました。

まず最初に「データベースとは何か」という話から始まり、講師の専門分野である考古学の木簡研究の事例を挙げ、データベースにおけるデータの活用例について解説しました。次に裾野市の石造物悉皆調査について具体的に言及し、庚申塔について年代順や形態別に見られるそれぞれの傾向と特徴、地域別や集落ごとに見られる石造物の比較検討及びその変遷について写真や資料を交えながら詳しく解説していただきました。更にはこれらの結果を踏まえ、民間信仰や人々の生活との関わり等についてのお話がありました。

▶講演会で紹介された北斗七星が刻まれた庚申塔



また、講演終了後、会場からは庚申塔と道教にまつわる質問等もあり、聴講した皆さんの学習意欲を大いに刺激したようです。

## 報告

## 富士・沼津・三島3市博物館合同企画展

「石は語る～祈りと想い～」 入館者数 7557名

期 間 平成14年11月16日(土)～平成15年2月23日(日)

展示会場

昨年7月より3市を巡回してきた本企画展示も終幕しました。多くの皆様にご覧いただき、感謝しております。この企画展で、各地の石造物を巡られたり、再発見されたとの反響をいただきました。また子どもたちも力石にチャレンジして、その重さと先人の力に驚いてました。



▶庚申塔の不思議な文字



さて今回の企画展で取り上げた錦田小学校入口にある庚申塔の不思議な文字について、多くの方が興味を持たれたようです。なにぶんこれについての資料がなく、言い伝えも残っておらず、神代文字を検索しても該当がなく諦めていたところ、日本石仏協会会員の方が篆刻や印章店で熱心に調べられ、次のような解釈をいただきました。

碑文は「西來意之」と読めるようです。この読みであるならば、これは禅の公案として非常に有名なもので、「如何なるか是れ達磨西來の意」という問いです。達磨はなぜインドから中国に渡ったのか、その目的を問うことは、仏法を問うことであり、禅の奥義を問うものです。

ただし、この文字は碑の中央に大きく刻まれていることには疑問が残るということです。みなさまから別の視点からのご解説がありましたら、ぜひお寄せいただきたいと思います。

なおこの石造物は、ほかに読める文字などから庚申塔と考えられます。

# 伊豆三島町繁榮壽娛録

振出し



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



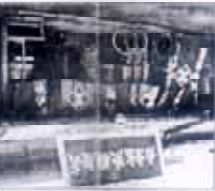
三島製菓



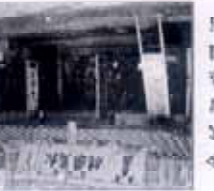
三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



三島製菓



此神島三社大御宮

「伊豆三島町繁榮」を「三島」の町を想い起すことができる。これは、たぶん大正半葉に印刷され、商店の宣伝用にたゞき人配られたものと思われるが、ある商家をふり出しとして町内各商家を一掃りする。上りが三島大社になるという「三島」になっているものである。工夫のあるユニークな宣伝紙といえよう。何よりも貴重なのは「三島」の町内各商家の店名がまごの位置である。そこに現れる看板、のれん、店員の様子など、明治の町並が浮かんでくるようである。

（複製者）村上 伍右衛門

出版人 意匠廣告專業 山本文之助

## 寄贈資料

平成14年11月から平成15年2月の間に、次の方々からご寄贈いただきました。  
ご協力ありがとうございました。

藤本 留雄 梅名  
循環式精米機 1点



小柳 馨 中央町  
腕時計 精密工具 1点  
ろくろ 宝飾用 1点  
はかり (金の目方) 1点  
検眼器具 1点



渡辺 幸雄 泉町  
キセル 3点  
軸物 1点  
足袋職道具 4点  
木型 7点  
へら 1点  
竹べら 2点  
包丁 2点  
かぎつめ 1点  
ものさし 一括  
型紙



大沼 綾子 中央町  
漢詩集『竹溪遺稿』 1点  
(敬省略)

## 新刊行

『三島本陣家史料集 15』  
頒布価格 1,000円

12号より連続している史料集で、江戸中期(1776～1786年)の本陣休泊客の接待状況と心付けを記載したものです。

## 平成15年度 企画展のお知らせ

「みしま町(三島町)」  
開催中、5月25日(日)まで

宿場町から伊豆の中心地に変貌を遂げた三島町の明治・大正・昭和の変遷や、祭り、商店、町の暮らしなどを古写真及び商人の資料のほか、昭和初期の三四呂人形を交えて紹介しています。

「三島の文化・芸術」  
7月6日(日)～11月9日(日)

わかふじ国体の開催にあわせ、多くの来訪者に三島を紹介するため、郷土資料館所有の文化財を中心に公開します。

「竹と生活」(仮題)  
11月16日(日)～

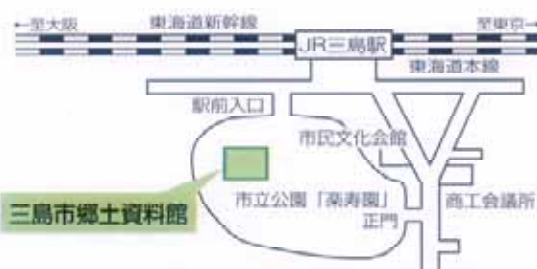
平成16年2月29日(日)

かつては日用品の材料とした竹は、工業製品に代われ、現在は山が竹で荒れています。かつての手工芸と、今後の新資源としての竹を考えます。

ぜひお立ち寄りください。

## 利用案内

休館日 毎週月曜日(祝日の時は翌日、  
12月27日～1月2日)  
開館時間 午前9時～午後5時(4/1～10/31まで)  
入場無料 (但し、楽寿園入場の際、有料)



●三島駅(南口)から徒歩5分。市立公園楽寿園内

郷土資料館だより VoL.26 No.3(第75号)

発行日 平成15年(2003)3月25日  
(年3回発行)  
編集 三島市郷土資料館  
〒411-0036 三島市一番町19-3  
楽寿園内  
TEL 055-971-8228  
FAX 055-981-3730  
E-mail: kyoudo@city.mishima.shizuoka.jp  
URL: http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo  
発行 三島市教育委員会